

木の名前を覚えよう ～「樹木博士認定会」の取組について～

北海道森林管理局

駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

こばやし
小林
まつだ
松田

かおる
薫
きよし
清



(左から松田さん、小林さん)

1 はじめに

当駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センターが発足して昨年で10年目の節目の年を迎えました。当センターの発足当時より実施してきた「樹木博士認定会」の10年間の取り組み状況を振り返り、今後の「樹木博士認定会」・「森林環境教育」のあり方について考察を行いましたので報告します。

2 樹木博士認定会とは

「樹木博士認定会」とは、四季折々の森林の変化を楽しみながら多くの人々に樹木の名前を覚えて頂き、それをきっかけにして森林に親しんでいただくことを目的としたアウトドア活動プログラムのひとつです。

平成12年6月に木平東京農工大学名誉教授らの提唱により「子ども樹木博士認定活動推進協議会」が発足し、現在では全国各地で取り組まれています。

道南では旧函館分局時代の平成12年8月に第1回目を開催して以来、90回の認定会を実施し、延べ2,201名の樹木博士が誕生しております。

また、平成16年10月には、北海道南部七飯町の大沼国定公園内の西大沼国有林に「樹木博士認定常設コース」を開設しました。「常設コース」には、樹木の特徴や識別方法などを明記した写真付きの樹名板などを設置した「事前学習コース」と「テストコース」の2つのコースがあり、誰でも何時でも森林の中に入り、散策しながら学習することが出来ます。(写真1)



写真1 樹木博士認定常設コース

3 「樹木博士認定会」の企画、運営

平成25年度において実施した公募による定例開催の企画運営の事例を紹介します。

まず、4月下旬、平成25年度の年間開催予定を決定しました。平成25年度は6月、7月、8月、9月の年4回、開催をする事としました。

開催日程が決まると、参加者の募集を行い

参加募集
チラシ

新聞に掲載
された募集記事

樹木博士にチャレンジしませんか！

樹木博士認定会は、樹木の名前や識別方法を学習し、それをきっかけとして森林に親しんでいただくことを目的としたアウトドア活動プログラムです。認定コースでは、四季折々の森林の変化などを楽しみながら学習することが出来ます。参加費は無料です。参加費は無料です。参加費は無料です。

1. 樹木博士認定会の内容

- ① 樹木博士認定コースで、樹木の名前・特徴・見分け方を学習します。
- ② 参加費には、事前に樹木博士認定会費を納入していただきます。
- ③ 参加費には、事前に樹木博士認定会費を納入していただきます。
- ④ 参加費には、事前に樹木博士認定会費を納入していただきます。

2. 平成25年度樹木博士認定会開催日程表 (開催要項)

回数	樹木博士認定会開催日時	申込締切	参加人数	対象
第1回	6月 2日 (日) 10:00～12:30	5月27日	30名程度	小学生以上
第2回	7月 7日 (日) 10:00～12:30	7月1日	30名程度	小学生以上
第3回	8月 4日 (日) 10:00～12:30	7月29日	30名程度	小学生以上
第4回	9月 8日 (日) 10:00～12:30	9月2日	30名程度	小学生以上

3. 申込方法 FAX又はメールで以下の項目を明記の上、お申し込みください。

① 参加費の納入方法 (現金・口座振替・クレジットカード) ② 申込書 (※中学生は学校長及び学務主任の捺印が必要) ③ 申込書 (※中学生は学校長及び学務主任の捺印が必要) ④ 申込書 (※中学生は学校長及び学務主任の捺印が必要)

4. 申込書 樹木博士認定会申込書 (※申込書は申込書に添付してください)

申し込み・問い合わせ先

樹木博士認定会事務局 駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

〒044-0101 北海道七飯町大沼 電話 0138-51-0381 FAX 0138-51-0178

E-mail: kumadokushin@npo.go.jp

写真2 募集チラシ・新聞記事

ます。募集チラシを作成し、ホームページへの掲載、報道機関へのプレスリリース、自治体教育機関などへの PR 及び、前年度参加された方への案内を行います。(写真 2)

ここで紹介している事例では、14 名の方から参加申し込みがありました。

開催日の 2 ～ 3 週間前に参加申し込みをされた方へ、当日のスケジュール、服装、履物、雨具などについての詳細案内と初めて参加される方には「樹木ガイドブック」(写真 3) を発送します。

開催日まで何度も事前の下見をし、コース内の危険を排除します。「樹木博士認定会」を開催する上で最も重要なことのひとつは、参加者の安全を確保するということです。事前の現地確認は、細部にわたり徹底して行います。

コース内の安全を確認したら、簡易トイレの設置、傷害保険への加入手続きを行い、樹木の葉、花、実の状態を確認し、認定会の対象木を選定します。

この回は、20 種の樹木を対象としました。

開催日当日、午前 10 時、西大沼国有林の「樹木博士認定常設コース」に集合です。

まず始めに、スケジュールの確認、安全に楽しむための諸注意などをお知らせした後、

学習コースで「樹木ガイドブック」を基に樹木の説明を行います。話がしばしば脱線してしまい、なかなか予定時間内に説明を終えることができません。

学習コースでの樹木の説明の後、休憩となりますが、皆さん、熱心に復習をします。

休憩が終わると、テストコースで識別試験です。基本的にはノーヒントで行います。

(写真 4)

試験終了後、すぐに答え合わせ、採点を行い全国統一の基準で正解数に応じた段級により樹木博士に認定されます。

この日は 2 級から上は 10 段までの樹木博士が誕生しました。(写真 5)

これで、「樹木博士認定会」は終了です。無事故で無事に終えることが出来ました。



写真 3 樹木ガイドブック



写真 4 識別試験



写真 5 認定書の授与

4 10年間の開催状況内容

当ふれあい推進センターが発足してから、10 年間の開催状況を紹介します。

この 10 年間で下は 3 才から上は 84 才まで、延べ 1,471 名が「樹木博士」に認定されています。

これまでの 10 年間の開催状況の内訳を見ますと、74 回の開催の内、公募による定例開催が 39 回 53 %と最も多く、次いで学校、教育局、児童館などから依頼を受け実施したものが 16 回 21 %、イベント会場において実施したものが、5 回 7 %となっております。また、その他の中には「小中学校の先生の初任者講習としての開催」「緑の少年団の森林教室」などがあります。(図 1)

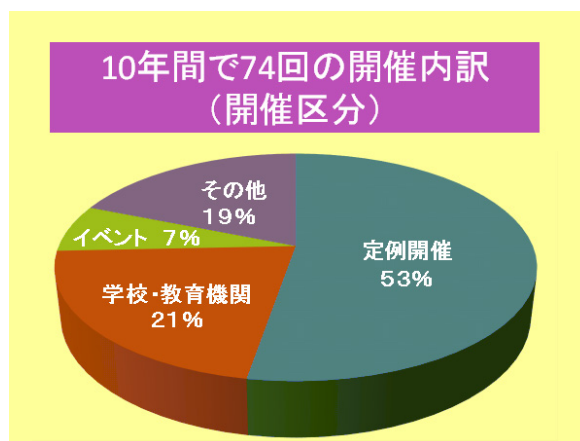


図 1 開催案内

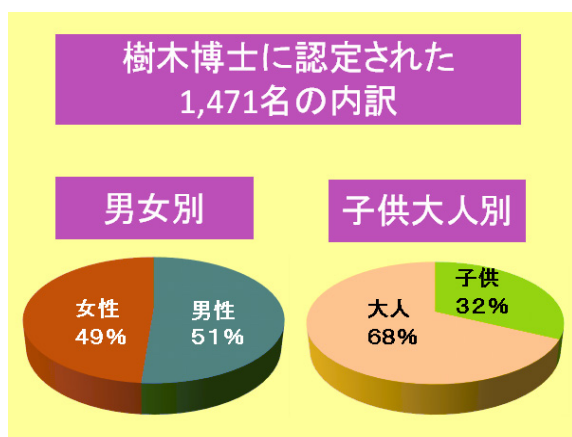


図 2 参加者内訳

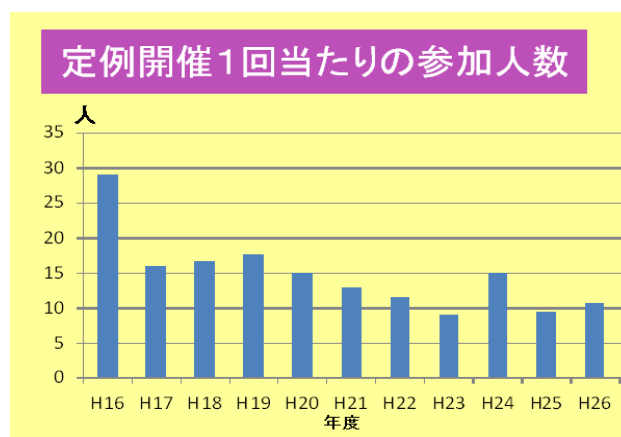


図 3 参加人数

樹木博士に認定された 1,471 名の内訳を見ますと、男女別では、男性 754 名、女性 717 名とほぼ同じで、小学生までの子供が 465 名で全体の 32 %となっています。(図 2)

1 回の開催あたりの参加人数ですが、公募による定例開催の場合を見ますと、年度毎のばらつきはあるものの年々減少している傾向にあります。(図 3)

最後に参加回数ですが、正味の参加人数 1,200 名のうち、1 回だけの参加は、1,077 名で全体の 90 %、2 回～4 回の参加は 113 名 9 %、5 回以上の参加は、10 名で 1 %に満たない結果となりました。最高で 26 回参加されている方もいますが、いわゆるリピーターは、少数であることが分かります。(図 4)

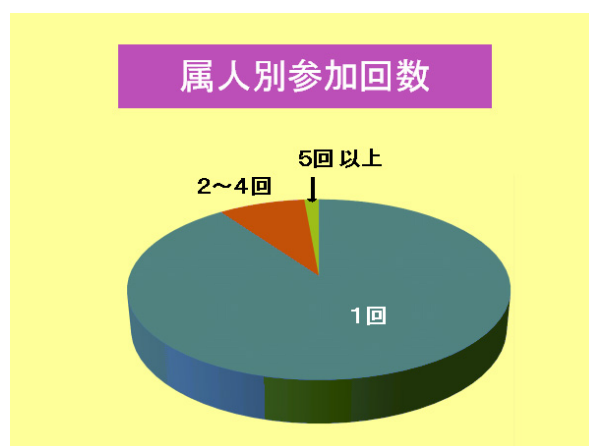


図 4 参加回数

5 課題の掘り起こし

認定会の企画・運営、及び 10 年間の開催状況を振り返った中から色々な課題・問題点などが見えてきましたのでその掘り起こしを行ってみました。(図 5)

・まず、「トイレは必要」ということで、認定会の開催時間は約 2 時間半でその前後も車などでの移動時間がありますので、現地にトイレがあることが必要です。我慢しながらだと「樹木博士認定会」は楽しめません。

・「公共交通機関からの距離」につきましては「常設コース」は公共交通機関の駅、停留所からの距離があり、また、ちょうど良い時間の便がありません。

・次に「足元の安全」ということで、危険な箇所がないか事前の安全確認はとても大切です。特にコース内は足元が滑りやすい箇所が多くあるので注意が必要です。

・最後に「時期に合わせた樹種」ですが森林は季節ごとに常に変化をしています。

樹種ごとにそれぞれ葉・花・実など見所が違います。その時期に合わせた樹種の選定が必要です。このため、樹木の種類は、多くあった方が良いです。

開催する中で見えてきた課題

トイレは必要

公共交通機関からの距離

足元の安全

時期に合わせた樹種

図 5 見えてきた課題

6 アンケート調査結果

認定会を進める中でいくつかの課題が浮かんできましたが、更に魅力のある「樹木博士認定会」とするため、一般の方々が、何を森林に求めているのか、森林の中で何がしたいのか、ニーズを探るためのアンケート調査を実施しました。

質問は、森林の中でしたいことは何ですか、ということ。まず、公募による定例開催の「樹木博士認定会」に参加された方々、次に小学校の依頼を受けて行った森林教室で実施した「樹木博士認定会」に参加した小学 5.6 年生の児童、最後にイベント会場に来場された方々を対象に実施しました。

公募による定例開催の「樹木博士認定会」に参加された方からは、[樹液の採取][もう少し森林で勉強したい][来年も樹木博士認定会に参加したい][秋、冬の芽を見たい]などの回答を頂きました。

小学校の依頼を受けて行った森林教室で実施した「樹木博士認定会」に参加した小学 5.6 年生からは、[秘密基地を作りたい][昆虫採集][森林の展望台で女子会][木登り][森林を使った迷路][木の葉や実を使って工作]などの回答がありました。

(写真 6)



写真 6 小学5.6年生の児童

イベントに来場された方からは、[木登り][昆虫採集][鬼ごっこ][かくれんぼ][きのこ採り][森林浴][ウォーキング][ツリーハウス作り][バードウォッチング][キャンプ][料理]などの回答を頂きました。

(写真7)

アンケートの結果、様々な回答が寄せられましたが、森林の中で「楽しみたい」ということが、多くの人が共通して持っている意見でした。



写真7 イベント会場にて

7 今後の開催に向けた考察

以上、述べてきました、認定会の企画・運営や10年間の開催状況を振り返った中から見えてきた課題及びアンケート調査の結果から今後の「樹木博士認定会」の開催のあり方の考察を行いました。

考察を行う中で、重要であると思われるものを4つのキーワードに分けて考えてみました。

まず、第一番目に「安全」です。「樹木博士認定会」を実施する上で最も重要なことの一つは、いかに無事に無事故で認定会を終えるかということです。

開催中の安全確保は勿論のこと、コースの事前点検などの準備を徹底して行うことが必要です。

次のキーワードは「楽しい」です。アンケートの回答からも森林の中で楽しみたいとのニーズが浮かび上がってきました。「樹木博士認定会」を実施する中で、例えば、木の実、木の葉の採取など参加者が楽しめる工夫が必要です。

続いて、「気軽」ですが、参加しやすい環境づくりが大切です。「樹木博士認定会」をはじめとして、森林の中で取り組む活動の場の多くは、公共交通機関の駅・停留所から遠く離れており、自家用車でなければ、参加することが困難な状況にあります。今後、この「足」の確保をどのようにしていくかを検討していかなければならないと考えています。

最後に「新鮮」です。実施結果の集約の中で顕著だったのが、複数回参加者、いわゆるリピーターの少なさです。何度も参加していただくためには、マンネリ化しないよう常に新鮮な取り組みが必要です。新たな場所、季節での開催などの可能性を模索していきたいと思います。

以上のことからこれからも、「安全」で「楽しく」「気軽」に参加でき、いつでも「新鮮」な「樹木博士認定会」の開催を目指して、さらに取り組んでいきたいと考えています。

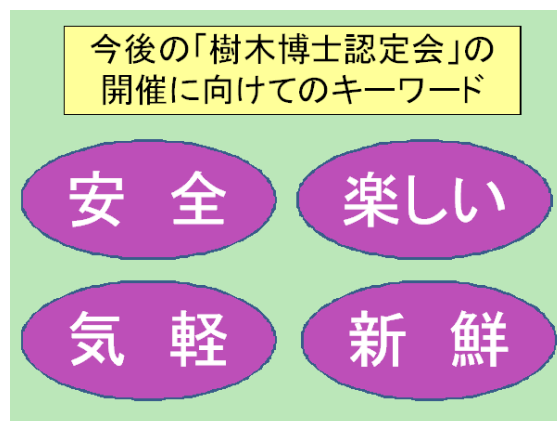


図6 4つのキーワード